

ATR(株)国際電気通信基礎技術研究所

は動画で説明します

No.	技術シーズ	特許番号	内容
1	災害実動機関向け現場活動運用システム	特開2023-157788 他	・大規模災害時の電話もインターネットもない通信途絶下で、災害実動機関（消防、警察、自衛隊など）が被災現場で活動する際に被災情報の収集、チーム内外との情報の共有のための可搬型情報通信システム:X-FACE (eXtensible Front-line Augumented Communication Exchanger)。 ・X-FACEは小型コンピュータ、バッテリー、無線LAN(Wi-Fi)装置を可搬型ケースに収容した通信システムです。 ・現場（隊員）ではスマホなどユーザーデバイスを使いハンズフリーで災害情報を収集し、本部（隊長）では収集情報や解析結果をAI技術を活用して可視化して活動支援できます。
2	小型無線多機能センサ・人位置人流計測	特許第4512775号 他 特許第7079466号 他	・「小型無線多機能センサ」はヒトやモノの動きを計測することを主目的としたセンサで、加速度・角速度・地磁気（各3軸）等のセンサを内蔵しています。 ・動きだけでなく生体信号、気圧、温度の計測なども可能なハイエンドモデル（TSND151）、動きに特化・高性能化した低価格モデル（AMWS020）を提供します。 ・「人位置計測システム」はLRFやLiDARを使用した非接触の人流計測や行動・動作分析ソリューションが可能です。2D-LRFを使用したシステム（ATRackerTM）、3D-LiDARを使用したシステム（FTPATRAScheTM）を提供します。 （注）LRF:Laser Range Finder （注）LiDAR:Light Detection And Ranging
3	革新的システム「MD無線LAN」	特許第7599208号 他	・マルチダイバーシティ無線LANは、製造現場や作業現場のような無線通信を妨げる構造物やノイズの多い環境下でもシームレスな低遅延無線通信を実現します。 ・「AP（アクセスポイント）」を設置し、「コンバータ」をUSB又はEthernetでユーザの端末装置に接続するだけで、端末装置の改造やソフトウェアのインストールは不要です。既存のAPを有効利用することも可能です。 ・建設機械や作業機械の遠隔操縦、製造現場での移動ロボットの操作、ドローンによる監視システムなどに利用できます。
4	英語学習システム「ATR CALL」	特許第4701456号 他	・「ATR CALL」はATRにおける外国語音声学習技術の研究開発から生まれたコンピュータを利用した英語学習システムです。 ・日本人が英語を学習するときの聞きとりや発音の学習メカニズムを最新の音声技術用いて多角的に研究してきた成果に基づいたATR独自の英語の「音」にフォーカスする学習メソッドで、学習効果が検証されています。 ・発音評定システムが特長で、英語の発音・リズム・アクセントについてネイティブスピーカーとの違いが明確に分かります。